



収穫の秋。6月に植えたお米の苗が大きく育ち、7日（火）に3園の年長児が石見分園に集まり稲刈りを行いました。



「さす」を「なう」体験



「かま」で「稲を刈る」体験



「稲を干す」体験



今年の夏は昨年よりももっと暑く、水不足にも悩まされました。そんな中、後藤さんのご協力のもと、石見分園で育ててきたお米が無事、年長児の手により収穫できました。

「お米を何にして食べたい？」と尋ねると、「カレーやシチューで食べたい」「おにぎりにしたい」といった中、「そのまま食べたい」という言葉も聞かれました。「どうしてそのまま食べたいの？」と尋ねると、「お米の味を確かめたいから」という声も聞かれました。

理由づけにも感心しましたが、命の基本、味わう基本を教えてもらった気がしました。

